

とびだせ！はばだけ！  
**みえふくっ子**  
みえの次代を担う福祉系人材の育成～

## 「あけのゼミ」の活動による変化と成長

明野高校福祉科

廣瀬 華音  
高山 さわ  
山本 恵生

富岡 結愛  
矢野 真奈美  
城山 侑音



学校×福祉×企業

# 発表内容

1. 三重県のマイスター・ハイスクール普及促進事業の  
取り組み
2. 明野高校について
3. 福祉の魅力発信ゼミの取り組み
4. 子どもゼミの取り組み
5. マイスター・ハイスクール普及促進事業を通した  
私たちの変化と今後
6. まとめ



# 三重県のマイスター・ハイスクール普及促進事業の取り組み

福祉に関する学習ができる高校 13校  
(介護職員初任者研修実施校)  
その内4校が福祉系高等学校  
(介護福祉士を養成)

福祉系高等学校である  
明野高校/みえ夢学園高校/朝明高校/  
伊賀白鳳高校  
マイスター・ハイスクール普及促進事業を実施

介護福祉士養成に係る  
施設実習、保育園や小中学校等と連携した交流活動、  
医療、福祉、介護分野の専門家招聘など、  
産業界等と連携した学習活動を、  
それぞれの学校で実施しています。



学校×福祉×企業

## とびだせ！はばたけ！みえふくっ子！～みえの次代を担う福祉系人材の育成～



### 【各機関の役割】

#### 拠点校

本事業の中心となって産業界、福祉系高等学校の連携体制を構築し、成果を地域や他の福祉を学ぶ高校に発信する。

#### 連携校

拠点校と連携して事業に取り組むとともに、各学校の課題に応じた取組を実施する。

#### 三重県教育委員会

事業目的を達成するため拠点校と連携校の取組状況を把握し、指導助言する。

#### 事業運営委員会

意思決定機関として福祉系高等学校の課題を把握し、産業界等との連携体制の在り方について検討する。

#### 事業推進委員会

事業運営委員会の決定に基づき事業計画を具現化する。



学校×福祉×企業



# 明野高校について

生産科学科・食品科学科・生活教養科



福祉科 40名 2コース制

社会福祉コース

- ・・・ 介護だけでなく保育や障がい等、幅広い福祉を学ぶ。

介護福祉コース

- ・・・ 介護を中心に福祉を深く学び、介護福祉士国家試験受験資格が取得できる。



学校×福祉×企業

# 明野高校 ～教育目標～

○農業、衣・食、福祉の専門高校として、それぞれの分野の専門的知識・技能の習得に取り組み、卒業後に実社会で活躍できるように主体的に行動できる人材の育成

○地域産業との連携を推進し、地域から信頼されると共に、地域から必要とされる人材の育成

※福祉科では社会福祉士、作業療法士、ケアマネジャー、介護福祉士、元保育士、元社会福祉士、看護師等々のPPE（Professional Practice Educator）＝専門実践教員の授業を毎週、受けることができる





# 明野高校の取り組み

## 1年生

### 課題発見・地域を知る



## 2年生

### 様々な連携・交流



## 3年生

### 明野高校生による 地域の居場所作り



# 明野高校の取り組み

高齢者



地域連携



障がい



明野高校生による  
地域の居場所作り

スマート  
福祉



子ども



福祉の  
魅力発信



伊勢新聞

児童福祉高校生交流 伊勢・明野高が「一日児童福祉」三重



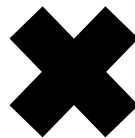
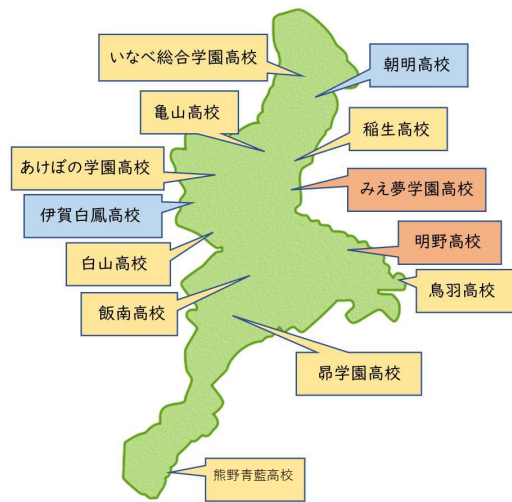
参加した小学2年の女兒は「お兄さんもお姉さんもうすぐ優しい。全部おもしろい」と笑顔をみせた。



福祉×企業



# 魅力発信



Dream 3.0

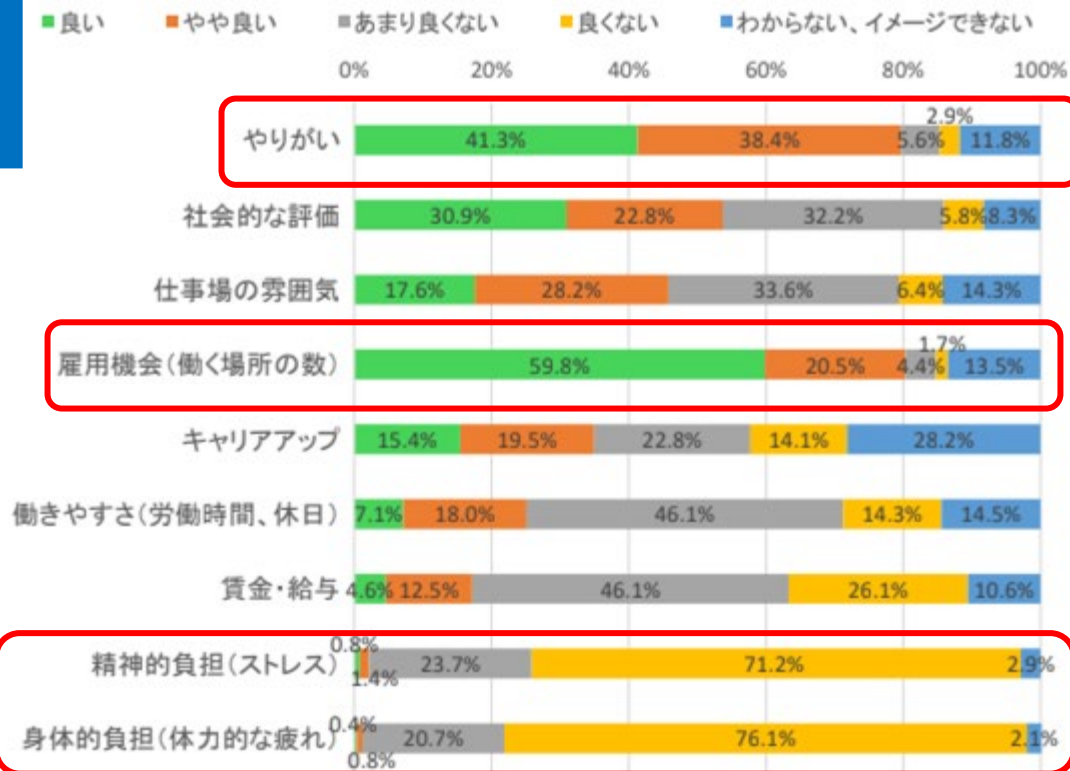


学校×福祉×企業

# 目的



# 結果



設問項目	良い	やや良い	あまり良くない	良くない
やりがい	大きい	やや大きい	やや小さい	小さい
雇用機会(働く場所の数)	多い	やや多い	やや少ない	少ない
キャリアアップ	しやすい	ややしやすい	ややしにくい	しにくい
精神的負担(ストレス)	小さい	やや小さい	やや大きい	大きい
身体的負担(体力的な疲れ)	小さい	やや小さい	やや大きい	大きい



# 福祉に対するイメージ

穏やか・優しい人 8%

4%

その他

大変

8%

人との関わり

8%

10%

幸せ・豊かさ

10%

助ける・  
支える

10%

医療・  
保育

介護  
42%

## 【福祉科】課外活動アンケート

ここで回答していただいた内容は一切口外いたしません。

akn23137@mie-c.ed.jp アカウントを切り替える

共有なし

\* 必須の質問です

学年 \*

☐ 1年

☐ 2年



学校×福祉×企業



4校に意見を募集

福祉科だから気づける発見て何だろう。



日常の中で福祉が  
で学んだことが活か  
されていると感じるエ  
ピソード

目を向けてもらえる  
内容とはなんだろう。



学校×福祉×企業



# 今後について

- ① 動画・ポスター制作
- ② 「福祉の魅力発信チーム」としての交流
- ③ 成果発表会での情報交換



マイスター・ハイスクール普及促進事業

みんなの福祉への思いや「成長」を表現しよう！

## 福祉科教育研究 成果発表会

とびだせ！  
はばたけ！みえふくっこ！  
～三重の次代を担う福祉系人材の育成～


**日時**  
2025年12月16日（火）  
9:30～15:00（受付9:20～）

**会場**  
鈴鹿区医療科学大学  
千代崎キャンパス  
〒510-0293  
三重県鈴鹿市岸岡町1001-1

**スケジュール**  
9:30～ 大学紹介  
10:30～ 開会式  
10:45～ 成果発表  
12:15～ 休憩  
13:20～ ポスターセッション  
14:30～ 講評・表彰式  
15:00～ 閉会

**成果発表について**  
・発表時間 : 15分  
・応募締め切り : 11月11日  
・提出先 : 明野高等学校

**ポスター発表について**  
・内容 : 福祉についての学習内容であれば可。  
横断紙サイズにまとめる。  
・応募締め切り : 11月28日  
・提出先 : 明野高等学校



<開催趣旨>  
本発表会は、2年間の「マイスター・ハイスクール普及促進事業」の成果を共有し、福祉教育の充実と地域福祉の発展に貢献することを目的とする。また、参加者間の相互理解と研鑽を深め、今後の実践活動への意識向上を図る。

学校×福祉×企業

# 子どもゼミ

NPO法人ゲキトモエンターテイメントの 谷川うりさんに「子ども若者の  
貧困支援や居場所づくり」といった活動についてのお話をいただきました。

- ・ 地元の農家さんや商店の方から寄付していただいた野菜でカレーライスとお好み焼きを提供している。

- ・ 人手不足で子ども食堂の継続が難しかった時には地元の大学生などのボランティアを募集した。

- ・ やる気だけじゃダメ！継続は難しい！



# 子どもゼミ

## 子ども食堂を始めたきっかけ



# 子ども食堂をするうえで

## 意識したこと

- ・ 安心・安全な運営
- ・ 広報と地域との連携
- ・ 食を通じた学び

## 目標

- ・ 空間づくり
- ・ 小学生との共同体験
- ・ 素直な思いを言える環境づくり





# 実施したことでの学び

## 高校生が子ども食堂を行うことの強み

- ・ 場所の確保がしやすい
- ・ 地域からの期待が高く、協力者を得やすい
- ・ 子どもの年齢に近く寄り添える





# 実施したことでの学び

## 連携先や協力体制の強化

### ○校内

生産科学科・食品科学科から⇒食材の提供  
生活教科から⇒調理室の借用

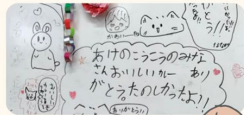
### ○校外

地元のまちづくり協議会から⇒食材や機器の提供  
卒業生の食品業者から⇒食材の提供  
地元の農家から⇒食材の提供  
地元の商店から⇒商品券の提供



# 今後について

こども食堂に協力いただき  
ありがとうございました



最後には  
ホワイトボードへ皆で  
メッセージを残してくれて  
私たちも大感激でした。



当日は晴天にも恵まれ、参加してくれた児童31名は  
宿題や体験を通し高校生との交流を楽しんでいました。

食事もおいしく大評判であったという間に  
すべてなくなってしまうほどでした。

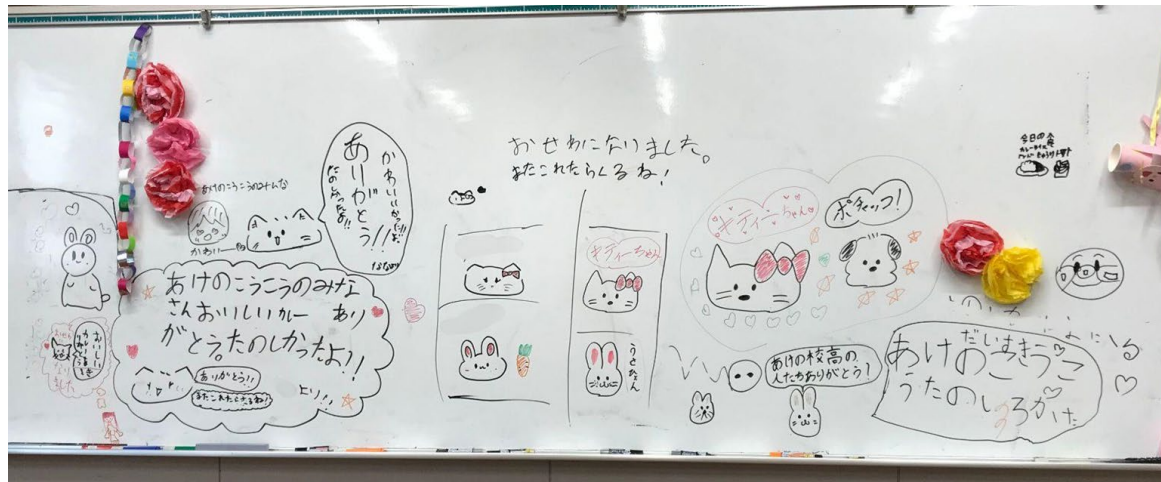
この度は食材の提供本当にありがとうございました。



きゅうりもトマトもおいしく大人気。  
何回でもおかわりしたいとおかわりの嵐で

全部おいしいという感想をたくさんいただきました。

## 子どもたちが書き残してくれました!!



学校×福祉×企業

# 各ゼミ連携先

## <高齢者ゼミ>

認知症と家族の会  
三重県認知症希望大使  
三重県健康福祉部長寿介護課

## <障がい者ゼミ>

障がい福祉サービス事業「五っぽ」  
障害者施設  
宮の里ミタスメモリアルホーム  
重症心身障害者施設なでしこ  
明野小学校

## <スマートゼミ>

社会福祉法人 洗心福祉会  
ふたみシルバーケア豊壽園  
みえ介護生産性向上支援センター  
株式会社ベネッセ

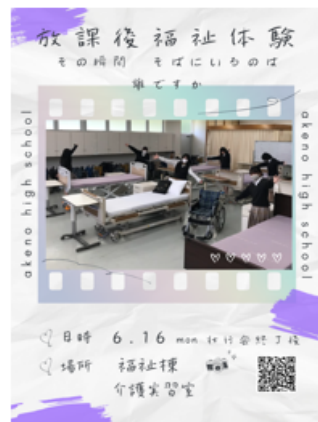
## <地域連携ゼミ>

明和町社会福祉協議会  
就労継続支援B型事業所 ありんこ



# 各ゼミ連携先

認知症で行方不明の方を減らすため、地域で適切な対応ができる人が増えてほしいと考え、**放課後福祉体験の実施**や、認知症サポーター**キャラバン・メイト養成研修**を受講。また、**認知症希望大使の方に話を伺った。**



障害者の方一人ひとりに素晴らしい個性があることを知ってもらいたいと考え、文化祭での**交流音楽会**、学術集会での**フアッションショー**、小学校での**出前授業**をそれぞれする予定で、現在準備している。

御気軽に相談ください  
めいわひきこもり相談窓口  
ご案内

こんなお悩みありませんか？  
人と関わるのが苦手  
何かしなければと思うけど一歩が踏み出せない  
ひきこもっている家族にどう接したらいいか...

相談窓口ではこんなこともしています

- 「サツマ」による生活相談
- 心理カウンセラーによる相談
- 相談員による生活相談
- 相談員による生活相談

まずはメール、LINE、電話、来所など、一歩相談しやすい方法でご相談下さい。相談員があなたの状況に合わせて対応させていただきます。お気軽にご相談ください。

ご連絡先 社会福祉法人 福岡市社会福祉協議会  
本部 2000-420-7000 (内線) 相談窓口(生活困窮相談)の番号  
e-mail: meiwahiki@fukuoka-npo.org  
LINE: ①LINEは24時間受付可です。②LINEは上記相談員になります。  
場所 福岡市東区 (多岐見駅南口徒歩1分)  
時間 毎週月曜 10:00 - 18:00

引きこもりで悩んでみえる方の、何か力になれないかと考え、当事者の方にインタビューしたり、相談支援をしている方に話を伺った。当事者の方が通っている事業所にも同行させてもらい、居場所づくりの様子も見せてもらった。

介護現場でも生産性向上に向けたICT機器の活用が進んでいるため、その利点と課題を学びたいと考え、施設の方も交えた座談会、



ICTを活用した課題解決の演習を体験。**スマート介護士資格**も取得。今後は実習日誌の電子化に取り組む予定である。

# (まとめ) マイスターハイスクールを通して感じたこと

- 学びの成果 ➡ 地域へ貢献し、取り組んだ活動を卒業後も継続・発展させていく
- 4校連携からの学び ➡ 自分たちの地域の魅力を見直すきっかけに。
- 生きた学び ➡ 自分の考えを持って行動する力、地域の中で自分の役割を見つける力





# マイスターハイスクールを通して感じたこと

- ・ 今後の展望

➡ マイスターハイスクールでの学びを  
学校の枠を越えて広げていく

- ・ 未来への思い

➡ 地域・産業とのつながりの中で、  
自分たちが出来ることを形にしていく



ご清聴ありがとうございました

